

循 鳥取グリコと国内クレジットの契約を締結
環型社会の実現を目指して

3月23日、株式会社山陰合同銀行の仲介で、南部町と町内企業である鳥取グリコ株式会社の間で「国内クレジットの取得及び譲渡に関する契約」を締結しました。これは、法勝寺庁舎の冷暖房設備を木質ペレットボイラーに更新したことで削減できた二酸化炭素(CO₂)47t分を、クレジットとして鳥取グリコが購入し、会社のCO₂削減目標達成に役立てるといふものです。

今後も、町と企業が一体となった、環境にやさしい町づくりを推進します。



右から内屋安隆社長(鳥取グリコ)、南部町長、皆廣繁夫常務執行役員(山陰合同銀行)



空き缶や紙くず、木の枝などを拾い集めました

春 第9回ふれあいクリーンウォーク開催
本番を前に桜の名所を美しく

3月24日、南部町ボランティア連絡協議会主催で「第9回ふれあいクリーンウォーク」を開催しました。町内の小・中学生、スポーツ少年団、中学校の各運動部、親子での参加がありました。また、今年は障がい者施設の参加もあり、新たなふれあいも出来ました。朝方は大雨で寒くもありましたが、約250人も参加していただき、スタートすると雨も上がり、法勝寺さくら土手周辺のクリーン活動を行うことが出来ました。今年の花見も気持ちよく見ていただけることと思います。

こちら 振興協議会

あいみ手間山

環境パトロールを行いました

あいみ手間山地域振興協議会 地域づくり部では、3月4日に不法投棄・ゴミ分別に関する啓発の放送をしながら環境パトロールを実施しました。(23年度は年2回、通算6回実施)

年々少なくなってきましたが、人の往来の少ない道路、わき道、溝などでは不法投棄が依然目立ちます。

軽トラ3台分を回収し分別作業を行い、大型ゴミ等については町へ撤去の依頼をしました。

今後も地域づくり部では、環境美化へ繋がっていくように継続して取り組んでいきます。



これは投棄されているゴミの「ほんの一部」です

大 国

世代を超えた地域づくりを目指して

大国地域振興協議会では、世代間の交流に焦点をあて様々な事業に取り組んでいます。

23年度も初夏の「まめなかや畑」の植え付け開始から、夏の「地域一斉ラジオ体操」、「まめなかや畑」の草取り、生育観察会、さらに「夏休み三世代交流工作教室」、秋に入って「まめなかや畑の収穫祭」、師走の「しめ縄作り&もちつき大会」など、いずれも各世代のふれあいに重点を置き事業を進めています。

24年度につきましても上記事業を継続し、子どもは父ちゃん母ちゃんを、父ちゃん母ちゃんは、じいちゃんばあちゃんを、それぞれがそれぞれの背中を手本として地域づくりを目指していきたいと思います。

